

# 評価シート

- I 広域性の発揮について
  - II 専門性の発揮について
  - III 効率性の発揮について
- (経営の視点)

数字目標値達成状況



# 評価シート(平成22年度アクションプラン 自己評価結果)

## I 広域性の発揮について

### 1 市町村図書館等のバックアップ、利用促進

1

北陸3県の各県立図書館との物流に関する相互協力協定に基づく各館の相互貸借業務支援(4月)

#### 1. 実績

・北陸3県と相互協力協定を締結し、相互貸借のための定期配送便の運行(週1回)を開始した。これにより、県内市町図書館は当館を経由し、これまでの東海地区(愛知・三重)に加え、北陸地区(富山・石川・福井)の図書館と送料負担なしに相互貸借を実施することが可能となった。

#### ■ 県内図書館の東海・北陸地区からの借用冊数

計 2,523冊(内訳 東海地区:2,158冊 北陸地区:365冊)

#### 参考(平成21年度)

計 1,988冊(すべて東海地区)

#### ■ 県内図書館の東海・北陸地区への貸出冊数

計 1,479冊(内訳 東海地区:1,038冊 北陸地区:441冊)

#### 参考(平成21年度)

計 1,101冊(すべて東海地区)

#### 2. 効果

・定期配送便を利用し、県内の図書館が新たに北陸地区の図書館と貸借をすることができた。これにより各館の送料負担は軽減された。

・総体的に県内図書館が他県から借用する冊数は増加している。これは、資料購入費の減少により当館の資料提供能力が低下する一方で、その分を他県からの借用によって補っている状態であるといえる。

・なお、北陸地区からの借用冊数は東海地区からのそれと比較すると少ないが、これは愛知県の蔵書が充実しており、依頼の多くは愛知県になされること(1,720冊)が原因として挙げられる。また、東海地区の定期配送便は週2回あるため、両地区に所蔵がある場合、優先して東海地区に依頼がなされるケースもあると考えられる。

#### 3. 課題

・定期配送便の利用促進を図り、県内図書館及び各図書館の利用者に向けて引き続き広報を実施する。

・円滑な実施のため各県立図書館担当者との連携を図る。

2

### 相互貸借サービスの効果的な広報の実施

#### 1. 実績

・岐阜県の相互貸借ネットワークを紹介するホームページを作成・公開し、県内図書館へも広報した。

・各地区で実施した担当者会議で東海・北陸地区ネットワークについて説明を行った。

#### 2. 効果

・当館の相互貸借貸出冊数は減少した。

#### 3. 課題

・資料購入費が減少し、新刊購入冊数が減ったことも相互貸借貸出冊数が増加しなかった要因として考えられる。

・ホームページや、作成中の図書館MAPを活用して引き続き広報に努める。

3	<p>研修参加機会の地域格差を解消するために、研修会を県下各地で開催        ---22年度は郡上市、飛騨市、関ヶ原町で開催</p> <p>1. 実績        ・郡上市 6/1・司書等研修会 参加者49名        ・飛騨市 7/2・司書等研修会 参加者14名        ・関ヶ原町 7/9・児童サービス実践研修講座 参加者29名</p> <p>2. 効果        各地で開催したことにより、当該地区の参加者は増加し、研修参加機会の地域格差を改善することができた。        ・郡上市 49名中10名が美濃地区内の関係者(前年度当館で開催したほぼ同内容の初任者研修会的美濃地区参加者:62名中7名 ※午前のみ・午後のみ等、部分受講者を含む)        ・飛騨市 14名中6名が飛騨地区内(前年度同内容の研修なし)        ・関ヶ原町 29名中7名が西濃地区内(前年度当館で開催した同講座の西濃地区参加者:25名中2名)</p> <p>3. 課題        ・引き続き多くの地区の方が参加できるような研修実施に努める。</p>
4	<p>図書館職員向け研修を、対象者を明確にし体系化して実施(4月～)</p> <p>1. 実績        ・勤務経験3年未満対象:2日間(基礎的内容:1日 31名参加 専門的内容:1日 49名参加)        ・勤務経験3年以上対象:2.5日間(基礎的内容:0.5日 46名参加 専門的内容:2日 計60名参加)        ・館長・管理職対象(基礎的内容):0.5日間 46名参加        ※参加者には、対象者以外で各所属長が認めた者も含まれる。        各研修の参加率は以下のとおりである。        ・勤務経験3年未満対象者:公図協加盟館の対象者180名 参加者数から換算した参加率:約44%        ・勤務経験3年以上対象者:同233名 同:約26%        ・館長・管理職対象の参加率:同106名 同:約43%</p> <p>2. 効果        ・研修への満足度は、88%と、今年度目標(80%)を上回ることができた。</p> <p>3. 課題        ・中堅職員を対象とした研修の参加率向上を図る。        ・参加者が増加するよう引き続きより効果的なプログラムを組む。</p>
5	<p>出前講義の周知に努めるほか、地区別意見交換会等を積極的に実施        ---出前講義を7件受付(8月まで)        ---地区別に相互貸借担当者会議を開催(5月～6月)</p> <p>1. 実績        ①出前講義        ・18回実施        ※ この他、郷土・地図情報に関わる出前授業・出前講座を県内小中学校、教育施設などで実施した。(13回、680名に実施)        ②意見交換会等        ・相互貸借担当者会議を各地区で計6回開催。        ・児研パックの説明会および意見交換会を岐阜、西濃、美濃、可茂の各地区で計4回開催。</p> <p>2. 効果        ②各館・室の概況および当館への要望を把握できた。相互貸借の利活用のための担当者へのPRを行うことができた。</p> <p>3. 課題        ②飛騨、東濃の各地区での意見交換会が未実施となったため、次年度は行いたい。</p>

6	岐阜県公共図書館協議会と協力し図書館MAPを作成
	1. 実績 3月に作成した。
	2. 効果 各図書館へ配布し、各館の利用者に対する、図書館ネットワークの広報とする。
	3. 課題 各館で図書館MAPを広報に活用していただけるよう努める。
7	公民館図書室への支援強化に向けた検討
	1. 実績 ・可茂地区公民館図書室担当者会議を1回開催した。(11月) ・各室を訪問し、巡回図書 of 交換等を実施した。(12月) ・各室からの資料返送費用を当館が負担することとした。(1月～)
	2. 効果 ・各室の概況および当館への要望を把握することができた。 ・これまでは片道負担であった相互貸借の送料を当館が往復負担することで、公民館図書室との相互貸借増加を見込むことができる。
	3. 課題 ・公民館図書室との連携を強化すると同時に、各自治体の実状にあわせ、図書館設置の促進も継続して行う必要がある。

## 2 学校図書館への支援を中心とした、子どもの読書活動の推進

8	職員研修、選書に役立つ情報提供など、「岐阜県子どもの読書活動推進計画～第2次～」で県図書館に求められている役割の推進 ——県読書感想文コンクール50回を記念して、小中学生部門を新たに設置
	1. 実績 ・読書感想文コンクール応募総数 H21:100(高校・一般)→H22:590(高校・一般 41、小中549)
	2. 効果 ・優秀賞を中日新聞に掲載及び図書館HPで紹介して読書から生まれた自分の考えを表現する機会となった。
	3. 課題 ・類似のコンクールが各団体によって実施されているため、県図書館で実施する必要性については疑問があるが、来年度については継続実施する。
9	体系化された研修への学校図書館関係者の参加推進 ——美濃地区、飛騨地区、西濃地区の研修会の開催について各地区小中学校へ案内
	1. 実績 ・美濃地区:9名、飛騨地区:参加者なし、西濃地区:2名
	2. 効果 ・少人数ではあったが、学校図書館関係者に研修参加していただけた。
	3. 課題 ・研修機会の周知方法について社会教育文化課と再協議が必要である。 ・研修テーマが公共図書館向けであれば、学校図書館関係者の参加は多くは見込めない。

### 3 県行政機関との連携

10	<p>県行政機関からの利用促進・レファレンス増加に向けた方策の検討          〓〓県の職員研修所のカリキュラムの中で図書館活用の研修の実施</p>
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員向けに毎月、行政向けメルマガを発行した。</li> <li>・平成22年度階層別研修「主事級4年目研修」(平成22年11月10日)にて「仕事に活かす県図書館」と題して研修を実施した。アンケートにより県職員の県図書館利用の実態を把握した。</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県行政機関からのレファレンス数が増加した H21:29件 → H22:40件</li> <li>・県図書館のサービスについて、研修の受講者に周知することができた。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政向けレファレンスの事例が不足しているため、今後、多くのレファレンスを受けることで回答の質を高める。</li> <li>・遠隔地在住者へも、電話やメール等でのサービスがあることを周知する。また、研修受講者以外への利用促進方策を検討する。</li> </ul>
11	<p>県行政機関との連携事業の実施          〓〓全国豊かな海づくり大会と連動した企画展示の実施(4月～6月)          〓〓自助実践200万人プロジェクトとの協賛事業を実施(7月)</p>
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海づくり大会企画展示 入場者数:2,780人</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の他機関との連携を図ることができた。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き県関連事業との連携を図る。</li> </ul>
12	<p>県美術館との連携          〓〓「絵本のなかの住人たち」展(6月～9月)・・・地元作家による作品展示(図書館)とワークショップの開催(美術館)          〓〓美術館の企画展に関連したテーマの資料展示(7月)</p>
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当館で「絵本のなかの住人たち」展を開催し、美術館で関連ワークショップを開催した。</li> <li>・美術館の企画展に関連したテーマの資料展示を行った。(7月、9月、11月)</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵本のなかの住人たち」展については、当館に展示された作品を見てワークショップ等に申し、ミュージアムショップで作品を購入したと思われる入場者が見られた。また、切り絵や紙細工についての本の問い合わせがあるなど、利用者からの反響があった。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き美術館との共同企画を計画する。(7月から開催決定)</li> </ul>

13	議会図書室、総合教育センター、(財)岐阜県産業経済振興センター等との、相互貸借、レファレンス等での相互協力体制の確立 ---議会図書室と共同で「岐阜県議会史」目次を電子化 ---館種を越えた図書館と協力し、職員研修事業・図書館なんでも相談(岐阜県図書館協会主催)を開催(7月)
	1. 実績 ・「岐阜県議会史」目次の電子化を完成した。 ・4館(議会図書室、総合教育センター、(財)岐阜県産業経済振興センター、岐阜県図書館)連携のパスファインダーを作成し、公開した。(2月)
	2. 効果 ・各館との連携を進めることで、サービスの幅を拡げることができる。
	3. 課題 ・総合教育センターとの連携(相互貸借等)についてさらなるPRを行う。

#### 4 その他

14	ホームページを利用した分かりやすい広報の実施
	1. 実績 ・新着情報の掲載については、従来通り、遅れることなく随時行った。 ・新たに「健康医療情報サービス」のページを作成した。 ・新たに「直接来館できない方へのサービス」のページを作成した。
	2. 効果 ・ホームページアクセス件数は平成21年度に比較して約10%減少した。 ・民間企業が実施した公共機関ウェブサイトのアクセシビリティ対応状況調査では、5段階で最も低い評価を受けた。
	3. 課題 ・新着情報の掲載については、引き続き迅速な作業を行う。 ・アクセシビリティに関しては、新規に作成するページは配慮を行っているが、過去に作成したページについても随時修正作業を実施することが必要である。

## II 専門性の発揮について

### 1 当館職員の専門性の向上

15	レファレンス推進委員会にて、専門性の向上のための方策を検討 ---朝のクイックレファレンス研修を試行(6月~)
	1. 実績 ・試行期間を経て本格実施とした。(平成22年9月~) ・研修事例をPDF化して共有ファイルに保存・閲覧できるようにしている。
	2. 効果 ・研修事例を共有ファイル化して蓄積することで、他分野のレファレンス事例も共通理解することができる。
	3. 課題 ・来年度も継続していくことで、レファレンス研修に役立てる。 ・発表事例をホームページで公開し、レファレンスサービスのPRの手段とする。

16	<p>パスファインダーの体系的な作成(1人1パスファインダー)          ---パスファインダー作成のための書式等の整備、パスファインダーコーナーの設置(4月～)          ---作成済みパスファインダーのメンテナンス体制の確立</p>
	<p>1. 実績          ・パスファインダー配布枚数:4,283枚(平成22年度)</p>
	<p>2. 効果          ・配布枚数の多さから、セルフファレンスへ活用されていると思われる。また、パスファインダーを持ってカウンターを訪れる方がおり、レファレンスサービスの利用促進につながっていることがうかがえる。</p>
	<p>3. 課題          ・アンケートなどにより利用者の要望をくみとる。HP上のパスファインダー利用の把握。</p>
17	<p>選書、レファレンス等における職員の分野別専門化の推進          ---書架整理に分野別担当制を導入(21年度より継続)          ---選書に分野別担当制を導入(4月)          ---レファレンスへの分野別担当制導入を検討</p>
	<p>1. 実績          ・司書職員全員に整理を担当する書架を割り当て、毎日および月1回の図書整理日に責任を持って担当書架の整理を行っている。          ・担当分野を決めた選書を実施した。          ・レファレンスの分野別担当制導入については具体的な成果はなかった。</p>
	<p>2. 効果          ・整理と選書を同じ職員が行うことでより利用実態に即した選書ができるようになった。</p>
	<p>3. 課題          ・限られた時間の中で有効な選書ができるよう、職員の資料についての知識をさらに高める。</p>
18	<p>レファレンスへの雑誌の活用に関する検討</p>
	<p>1. 実績          ・これまでも必要に応じて雑誌の活用は行っていることから、今年度、新しい取り組みを行うことはできなかった。          ・CiNii機関定額制の導入に向けて平成23年度予算要求を行った。</p>
	<p>2. 効果          ・平成23年度よりCiNii機関定額制を導入することとなった。その効果は以下のとおりである。          ・CiNiiで閲覧できる学術論文の数が増えるほか、その論文をプリントして利用者に提供することもできる。          ・実質、学術雑誌の購入種数を増やすのと同等の効果があり、館として専門的なレファレンスへの対応能力も上がる。</p>
	<p>3. 課題          ・CiNiiの効果的な活用法を探る。</p>

## 2 特色あるコレクションの充実と利活用

19	<p>岐阜県関係情報のデータベース作成          ---21年度より作成中の県内各市町村史目次索引を完成・公開し、資料の利活用を推進          ---その他、岐阜県関係情報のデータベースの作成を継続</p>
	<p>1. 実績          ・県内市町村史目次索引を新たに13件完成・公開した。</p>
	<p>2. 効果          ・レファレンスに活用することができる。</p>
	<p>3. 課題          ・今後もデータベース作成を継続する。</p>

20

PDF資料(郷土資料、行政資料等)をはじめとするデジタル資料の保存および提供方法の確立

- ――他県の県立図書館のPDF資料保存・提供方法の調査(実施中)
- ――県の全課、市町村の総務課および国の出先機関にPDF資料収集のための依頼文書を送付(4月)
- ――将来的な電子書籍の導入と提供のあり方について検討を開始

### 1. 実績

- ・PDF資料保存・提供方法について東海・北陸5県の調査を実施した。
- ・県の全課、市町村の総務課および国の出先機関にPDF資料収集のための依頼文を12月にも送付した。

### 2. 効果

- ・他県の調査を行ったが、有効な方法は得られなかった。
- ・12月に再度、関係機関に依頼文を送付し、年度後期に発行された資料の提供を4月と同数得ることができた。図書館での収集、提供に対する意識付けができた。

### 3. 課題

- ・既に情報を把握できているPDF資料については印刷・保存を行っているが、その量が多く、作業が滞留しているので、できるかぎり作業が滞らないようにするための工夫が必要。
- ・PDF資料を作成した際、図書館へは印刷したものを寄贈していただけるよう働きかけたい。
- ・電子書籍の導入は課題が多く、早急には踏み切れない。各社プラットフォームや国会図書館の動向、当館が導入した場合の市町図書館への影響、導入経費等が具体的課題である。

21

児童図書研究室資料のパッケージ化の推進等、資料利活用の拡充

- ――児童図書研究室資料を、研究目的の個人利用者へ貸出開始(4月)
- ――児研パックを団体へ貸出開始(4月)

### 1. 実績

- ・平成22年度利用実績:75件(467冊+18セット)

【参考】平成21年度利用実績:58件(479冊+16セット)

- ・平成21年度と比較して個人利用が増えている。公共図書館等施設への団体貸出は微減したが、平成22年度新規登録した推進団体への貸出は3件あった。

- ・児童図書研究室特別貸出の冊数は、微減したが、申請件数は増加している。
- ・作品、作家研究等の研究用資料の貸出が増加した。(研究用資料貸出冊数 H21:40冊 → H22:118冊)
- ・地区別意見交換会、出前講義の機会を利用して、児研パックの周知を図っている。

### 2. 効果

- ・児童図書研究室の利活用を推進した結果、個人利用が増え、徐々に利活用が進んでいる。平成23年度以降、研究団体等が当資料を定期利用する予定もあり、認知と利用は徐々に広がりがつつある。

### 3. 課題

- ・個人・団体利用者の意見を聞きながら、より利活用しやすい環境づくりを行う。(パックの継続的作成。当資料の管理方法・所蔵場所の検討、コレクションを活かした情報発信、県図書館として担当職員等の人材育成と研修機能の検討)
- ・子どもの読書活動推進団体や大学研究室、関連団体の研究のヒントとなるテーマを提供できるようなパックを作成し、PRする。児童図書研究室の機能強化。「児研ニュース」の発信、児研資料を活用した子どもの読書推進団体の成果を共有できるような取り組み等)

22	貴重な古地図約3,000枚をデジタル画像化
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し、古地図3,000枚のデジタル化を業務委託した。(12月28日～3月15日)</li> <li>・この他、中日新聞の3ヶ年分をデジタル画像化した(昭和29年1月～昭和31年12月分)。同じく緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し、業務委託した。(12月28日～3月31日)</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古地図・新聞のデジタル化を図り、利用者の利便性を高めると共に、新聞の貸出時の利用劣化を防ぐことができた。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜新聞等のマイクロフィルム(明治～昭和35年分)等、将来的にデジタル化しておくことが望ましい資料についての検討。</li> </ul>

### 3 研修機会(職員対象)の充実

23	体系に基づく研修の実施
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当館で実施した職員研修および当館職員が参加した主な研修は以下のとおりである。接遇研修(5月)、愛知県図書館協会児童サービス研修(6月)、児童図書館員専門養成講座(6月、10月)、全国図書館大会(9月)、図書館司書専門講座(10月)、全国公共図書館研究集会(11月)、東海北陸地区公共図書館研究集会(11月)、東海北陸地区図書館地区別研修(12月)</li> <li>・研修の成果を全職員が享受できるよう、全体会での報告を実施している。</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修への参加と、その成果を共有することで職員の専門性向上を図ることができた。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して研修を行うことと、専門性の向上をサービスにどう結びつけるかが課題である。</li> </ul>
24	地区別の関係者会議等の場を活用した、県内市町村図書館等への講師派遣事業の実施
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当館職員が講師を務めた主な研修は以下のとおりである。岐阜市校外研修小中国語部会研修会(7月)、文部科学省新任図書館長研修(9月)、主事級4年目研修(11月)、学校図書館機能充実講座(11月)</li> <li>・この他、出前講義を行った。</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修講師を行うためには日常的な自己研鑽が必要であり、講師を務める機会を増やすことは専門性の向上につながる。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き依頼を積極的に受けると同時に、多くの依頼があるよう研鑽を積む。</li> </ul>

### 4 その他

25	大学図書館との相互協力協定に基づく図書館ネットワークとしての専門性発揮 ——中部学院大学・中部学院大学短期大学部との相互協力協定に基づく協力事業の開始(4月)
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用上のトラブルについて、心理学を専門とする教員へ相談した。</li> <li>・研修会講師の紹介を受けた(危機管理に関する研修)。</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館業務全般にかかわる支援を得ることができた。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き相互協力の推進を図る。</li> </ul>

26	<p>大学図書館、専門図書館と連携したレファレンスサービスの充実          ——岐阜大学と連携に向けた協議を開始(5月)          ——専門図書館と連携に向けた協議を開始(7月)</p>
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンスサービスの協力体制について大学・専門図書館と協議を行った。</li> <li>・岐阜大学との研修会を共催した。(9月)</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県図書館・岐阜大学図書館研修会参加者数:33名</li> <li>・大学・専門図書館より、レファレンス照会することは可能であるという回答を得た。しかし、実際に照会するような事例はなかった。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度の研修事業について岐阜大学図書館との協議が必要である。</li> <li>・レファレンスサービスに限定せず、大学・専門図書館との連携を検討する。</li> </ul>

### Ⅲ 効率性の発揮について(経営の視点)

#### 1 利便性に配慮した施設・設備面の整備

27	<p>利用者の立場に立った開架資料の配置の推進          ——健康医療情報(仮称)プロジェクトチームの立ち上げ(6月)</p>
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康医療情報コーナーを10月26日に設置した。</li> <li>・健康医療関係のパスファインダーを作成しコーナーに設置した。(10月)</li> <li>・県図書館のホームページに当コーナーのページを開設した。(12月)</li> <li>・専用端末を当コーナーに設置した。(1月)</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <p>・もともと利用の多い分野ではあるが、見出しやサインを増やしたことで、利用者自身で求める資料にたどり着きやすくなったとの声があがっている。その他、資料や専用端末等について、より使いやすいよう充実を求める利用者の声があがっているなどコーナーへの関心は高い。</p>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他医療健康関連機関との連携。(各機関と連携して利用者に情報提供。また、関係機関のイベント・講演を県図書館で開催する等、場と資料の提供。)</li> <li>・コーナー運営・充実のために、利用データ統計の取り方、その検証と評価法、今後の利用者ニーズを吸い上げる手法の検討。</li> </ul>
28	<p>楽書交流サロンのテレビコーナーの改修</p>
	<p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽書交流サロンに58インチデジタルテレビ及び録画装置を設置した。(1月)</li> </ul>
	<p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県広報媒体の放映等により、県行政事業等のPR及び県図書館としての「くつろぎの空間」を提供することができた。</li> </ul>
	<p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4面マルチビジョンスペースの有効活用(解体撤去含む)。</li> </ul>

## 2 利用機会の公平を考慮した館内サービスの変更

29

延滞資料がある場合の新規の貸出・予約停止の厳格化(従来の2ヶ月の猶予期間を撤廃・経過措置を設け実施)(5月)

### 1. 実績

・5月より延滞資料がある利用者への新規の貸出・予約を停止し、ルール of 浸透を図っている。

### 2. 効果

・延滞利用者の数が減少した。  
 【督促ハガキ(第1回目)の送付枚数(4-3月)】  
 H22: 5,105枚(貸出人数の約2.5%)  
 H21: 6,678枚(貸出人数の約3.7%)  
 ・利用者に対して図書館マナーを遵守してほしいという図書館側の姿勢を表明することができ、きちんと返却期限を守って利用している利用者からは好評の声をいただいている。

### 3. 課題

・図書館マナーとしてご理解いただけるように継続して周知する。

## 3 効率的運用のための業務の見直し

30

総合案内窓口の利用促進と、利用状況を把握した改善

### 1. 実績

・総合案内窓口で18,308件の相談に対応した。  
 ・相談件数の時間帯別統計の把握につとめ、相談件数の少なかった平日17:45以降は総合案内窓口は第1ワークルーム内勤務を試行している。(12月～)

### 2. 効果

・総合案内窓口を設置し、カウンターのローテーション制を開始することができた。

### 3. 課題

・冬季は夜間の利用者全体が少なく総合案内窓口の利用も少ないが、通年、春季、夏季は利用者が多くなるので、引き続き利用状況に合わせた対応を考える必要がある。

31

自動貸出機の利用促進

——貸出カウンター混雑時に、総合案内職員が積極的に自動貸出機を案内

### 1. 実績

・総貸出冊数の減少に伴い、自動貸出機を利用したの貸出冊数も減少した。利用率は総貸出数の約15.5%であり、昨年度とほぼ同水準を保っている。

### 2. 効果

・自動貸出機の利用により、カウンターでの貸出業務が省力化された。

### 3. 課題

・カウンター業務の省力化につながるのであれば、自動貸出機の台数をさらに増やすことも考えられる。

32

雑誌スポンサー制度の実施(5月～)

### 1. 実績

・5月より募集を開始し、4者より12誌の提供を受けた。

### 2. 効果

・雑誌購入費を節減する一方で、購入タイトルを維持することができた。

### 3. 課題

・継続してPRを行う。

33	映画会、文化講座、読書活動研修会、書庫ツアーの原則休止 ※ 定例の映画会は休止したが、各種イベントに関連した映画会は不定期に実施中
	1. 実績 ・原則、休止した(全国豊かな海づくり大会の企画展に合わせ、映画会を1度開催)。
	2. 効果 ・図書館運営の効率化を図ることができた。 ・イベント時に映画会を開催し、イベントをより魅力的なものにすることができた。
	3. 課題 ・定例的な開催は休止するが、今後もイベントに合わせた実施は検討する。
34	託児事業を週2回から週1回に削減(4月)
	1. 実績 ・平成22年度実績:計40回実施。277人利用・1回あたり約6.9人(うち市内在住者268人・全体の約96.8%)。 【参考】平成21年度実績:計78回実施。延べ661人利用・1回あたり約8.5人(うち市内在住者524人・全体の約79.3%)。
	2. 効果 ・利用者の大半は市内在住者。1回あたりの利用者数は微減しているが、利用が増えてもまだ対応可能である。
	3. 課題 ・サービスのわかりやすい広報が必要である。ホームページ上の案内を工夫する。(実施日等の案内が見つけにくい、わかりにくいとのご意見をいただいている。)
35	おはなし会(乳幼児向け)を月2回から月1回に削減(4月)
	1. 実績 ・平成22年度実績:計11実施。参加組数(概数)366組(1回平均33組)。 【参考】平成21年度実績:計22回実施。参加組数(概数)695組(1回平均32組)。
	2. 効果 ・月2回から1回に削減したことで、1回ごとのおはなし会について、準備・反省にかかる時間が増え、じっくり取り組むことができた。利用率は微増した。市町図書館等のモデル的实践としては適度な運営規模と言える。
	3. 課題 ・モデル的实践としての機能も果たすために、研修等で担当職員の技能向上を図る必要がある。

#### 4 施設管理の効率化

36	平成24年度の施設管理部門への指定管理者制度導入に向け、具体的に検討を開始
	1. 実績 ・社会教育文化課及び美術館と合同での「指定管理者制度打合せ」会議(3回) 図書館内での「指定管理者制度検討会」(1回)を開催した。 ・施設管理のみ指定管理者制度を導入している先催県を調査した。 岡山県立図書館、島根県立美術館
	2. 効果 ・平成24年度指定管理者制度導入に向けての問題点等の抽出検討した。 ・施設管理部門への導入では、指定管理者制度導入のメリットが十分に得られないことが判明し、平成24年度の指定管理者制度導入は見送ることとなった。
	3. 課題 ・美術館と一体となった効率的な施設管理の仕組みづくり。

37	2階展示コーナー・1階企画展示室の有効活用の推進 ――企画展示室を「絵本のなかの住人たち」展に利用(6月～9月) ――2階展示コーナーを所蔵資料の常設展示室として活用(6月～)
	1. 実績 ①常設展(6～10月、12月～)、児童生徒地図作品展(10～11月)を実施した。 ②「絵本のなかの住人たち」展では、企画展示室を第一会場として利用した。 ③鳥取県立図書館との合同企画「JリーグFC岐阜応援企画展～FC岐阜VSガイナレ鳥取～」(2月～3月)を実施した。
	2. 効果 ①6月19日～10月11日に実施した常設展(入室者4434名)では、アンケート回答44件 内92%が「たいへん満足・ほぼ満足」であった。 ①10月30日～11月25日に実施した第16回児童生徒地図作品展(入室者2582名)では、アンケート回答35件 内97%が「たいへん満足・ほぼ満足」であった。 ②企画展示室:夏休み期間を含む会期であったため、多くの来館者が観覧したもようである。
	3. 課題 ・来年度以降も2～3ヶ月程度、美術館と共同で企画展を実施していき、有効活用を図る。 ・さらなる活用に向けたPR方法を探る。
38	太陽光発電装置の設置(年内設置45KWH)
	1. 実績 ・図書館建物屋上に太陽光発電パネルを設置した(45KWH:パネル216枚、年間発電 およそ54,000KWH)。(10月～12月)
	2. 効果 ・地域グリーンニューデール基金事業を活用し、設置。年間使用電力量の数%の発電及び2階開架室の室温上昇の抑制を図る。
	3. 課題

## 5 自己評価および外部評価の実施

39	自己評価の実施(21年度より継続) 図書館協議会での外部評価の実施(21年度より継続)
	1. 実績 ・1月に中間評価を実施し、その内容について2月開催の図書館協議会に報告した。
	2. 効果 ・中間評価の結果をもとに、23年度アクションプランの作成を行った。
	3. 課題 ・次年度アクションプランへの反映と、数字目標値の見直しを検討する。

40	<p>来館者アンケート(4月)および非来館者アンケート(11月)、県内公共図書館アンケート(4月)を実施し、図書館評価へ反映</p> <p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者アンケート調査を4月に実施、424件の回答を得た。調査結果を8月に館内及びホームページで公表した。</li> <li>・県内公共図書館アンケート調査を4月に実施、調査結果を取りまとめ、各館へ返送した。</li> <li>・非来館に対してもアンケート調査を実施するため、11月から12月にかけて県政モニターへのアンケートを実施した。</li> </ul> <p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者アンケート調査によって、来館者の生の声を多く聞くことができた。結果は21年度の図書館評価及び22年度の改革アクションプランに反映させることができた。</li> <li>・県内公共図書館アンケート調査によって、市町図書館が県図書館に期待する事柄を改めて確認することができた。</li> </ul> <p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県政モニターアンケート調査の結果、直接来館できない人へのサービス充実を望む声が多いことから、そのためのサービスの検討・実施が必要である。</li> <li>・引き続き県民の声を図書館運営に反映させるためのよりよい方法を、アンケート調査の継続も含めて検討し、実施することが必要である。</li> </ul>
----	---

## 6 その他

41	<p>県内図書館の新設等の動向を把握し、県図書館サービス業務の適切な運用を遂行</p> <p>――新館建設予定の自治体を訪問し、情報収集(随時)</p> <p>――建設予定の岐阜市立図書館新館との機能分担について検討を開始</p> <p>1. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市の新図書館建設にかかわる動向の聞き取り調査を行った。(6月)</li> <li>・岐阜市立図書館担当職員との意見交換会を実施した。(9月から月1回開催)</li> <li>・岐阜市立図書館機能等検討委員会に当館職員が参加した。</li> </ul> <p>2. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜市立図書館職員との意見交換会は岐阜市側からの要望に応じて開始したが、定期的・継続的に行うことで実務レベルの相談業務にも応じることができた。</li> </ul> <p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜市立図書館との意見交換会を継続し、今後も相談に応じる。</li> </ul>
----	---

評価シート 数字目標値達成状況

広域性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H21	H22	H23	H25	評価
県図書館相互貸借出冊数	目標	17,000冊	<b>21,000冊</b>	24,000冊	30,000冊	C
	実績	15,168冊	<b>13,489冊</b>			
	達成率	89%	<b>64%</b>			
県図書館ウェブサイトアクセス件数	目標	300,000件	<b>350,000件</b>	400,000件	500,000件	B
	実績	350,858件	<b>315,830件</b>			
	達成率	117%	<b>90%</b>			
市町村図書館への出前講座等	目標	16回	<b>18回</b>	20回	24回	A
	実績	17回	<b>18回</b>			
	達成率	106%	<b>100%</b>			
県内図書館職員向け研修における満足度指数	目標	75%	<b>80%</b>	85%	90%	A
	実績	89%	<b>88.0%</b>			
	達成率	119%	<b>110%</b>			
セット文庫貸出校数	目標	-	<b>97校</b>	114校	150校	B
	実績	81校	<b>96校</b>			
	達成率	-	<b>99%</b>			
県行政機関（県職員）からのレファレンス件数	目標	-	<b>35件</b>	90件	200件	A
	実績	29件	<b>40件</b>			
	達成率	-	<b>118%</b>			
数字目標値についてのコメント（自己評価）						総合評価
<p>・相互貸借出冊数は減少している。これは、資料購入費の減により新刊を多く購入できなかったこと、改革方針に従ってより専門的な資料収集に努めたことにより、貸出冊数の増加に至らなかったものと考え。また、広報がまだ十分でないという側面もある。</p> <p>・ウェブサイトアクセス数は増加には至っていない。インターネットの普及は徐々に飽和状態に向かっていると考えられ、今後、ウェブサイトアクセス数を伸ばすためには、新しいサービスの開発やウェブを活用したこれまでにない広報が必要である。</p>						B

専門性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H21	H22	H23	H25	評価
県図書館レファレンス件数	目標	9,000件	<b>9,800件</b>	10,600件	12,000件	C
	実績	7,092件	<b>7,654件</b>			
	達成率	79%	<b>78%</b>			
県図書館バスファインダー作成件数	目標	10件	<b>30件</b>	50件	90件	A
	実績	5件	<b>37件</b>			
	達成率	50%	<b>123%</b>			
県図書館郷土関係等二次的資料作成件数	目標	10件	<b>11件目着手</b>	11件→40件	12件→100件	A
	実績	7件	<b>20件</b>	(修正)	(修正)	
	達成率	70%	<b>182%</b>			
児童図書研究室資料のパッケージ作成件数	目標	-	<b>5件</b>	7件	10件	A
	実績	-	<b>5件</b>			
	達成率	-	<b>100%</b>			
数字目標値についてのコメント（自己評価）						総合評価
<p>・レファレンス件数は横ばいである。職員の専門性を高めるのと同時にレファレンスサービスのPRを引き続き行う必要がある。なお、レファレンス件数は全国的にも増加傾向になく、これは、インターネットの普及により個人でも簡単な調査であれば家庭で行うことが可能になっていることが要因として考えられる。</p>						B

効率性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H21	H22	H23	H25	評価
所蔵資料利用率	目標	-	H21より増加	103%	117%	B
	実績	97.4%	93.3%			
	達成率	-	96%			
雑誌スポンサーによる寄贈雑誌種数	目標	-	-	16タイトル	24タイトル	-
	実績	-	12タイトル	(新規設定)	(新規設定)	
	達成率	-	-			
自動貸出機による貸出冊数	目標	-	185,000冊	277,000冊		C
	実績	168,459冊	146,418冊	(新規設定)		
	達成率	-	79%			
総合案内窓口相談件数	目標	-	16,000件	満足度に変更		A
	実績	-	18,308件			
	達成率	-	114%			
数字目標値についてのコメント（自己評価）						総合評価
・自動貸出機による貸出冊数は、冊数としては減少しているが、全貸出冊数に占める割合としては昨年度と同等である（約15.5%）。						B

（参考指標）県全体のサービスの指標にかかわる具体的数字目標値

指標		H21	H22	H23	H25
県内公共図書館来館者数（当館以外）	目標	4,543,000人	4,718,000人	貸出冊数に変更	
	実績	4,616,723人	5,102,375人		
	達成率	102%	108%		
県内公共図書館登録者数（当館以外）	目標	918,000人	953,400人	988,600人	1,059,000人
	実績	905,694人	935,273人		
	達成率	99%	98%		
相互貸借定期便 県内図書館間利用数（冊）	目標	-	H21より増加	8,330冊	9,100冊
	実績	7,558冊	8,127冊		
	達成率	-	108%		
同 県内・東海北陸地区利用数（冊）	目標	-	H21より増加	2,200冊	2,400冊
	実績	1,988冊	2,523冊		
	達成率	-	127%		
県内外パスファインダー利用可能件数	目標	44件	98件	152件	260件+α
	実績	67件	131件		
	達成率	152%	134%		
岐阜県内図書館障がい者サービス実施館（市町村図書館等34館中）	目標	17館	17館	20館	24館
	実績	19館	19館		
	達成率	112%	112%		